

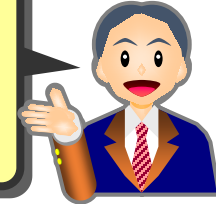
経験症例の申請について

Q22



手術経験症例が勤務施設のNCD登録からもれていましたが、申請に使用可能でしょうか？

新規申請も更新申請も、NCD登録されたもののみ手術経験症例として認められます。原則として、NCD登録されていない症例は申請には使用できません。普段から、NCD登録には十分に注意をして正確に入力してください。

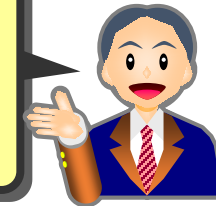


Q23



創長8cmを超える開胸下手術をNCDで誤って胸腔鏡手術で登録していました。呼吸器外科専門医の新規申請に際して、NCD登録項目の修正をしてもよいでしょうか？

呼吸器外科専門医の申請に際して、NCD登録内容の修正や変更は認められません。普段から、NCD登録には十分に注意をして正確に入力してください。



Q24



最大創の長さが6cmで直視下に手術を行った症例は開胸下症例にカウントできますか？

NCD登録の原則と同様に創長8cm以下の手術はすべて胸腔鏡補助を含めた胸腔鏡手術としてカウントいたします。逆に、8cmを超える創の手術は、胸腔鏡を併用していても開胸下手術と判断します。



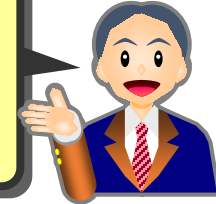
経験症例の申請について

Q25



新規申請に必要な開胸下症例20例は、術者でなければなりませんか？

いいえ。2022年度の新規申請からは、術者または助手で20例となりました。ただし、助手は、NCD登録の第3助手までとなります。

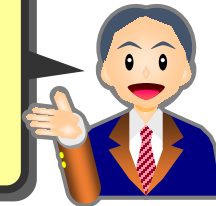


Q26



新規申請に必要な開胸下症例20例は、側方開胸や腋窩開胸でなければなりませんか？

いいえ。胸骨正中切開やヘミクラムシエル切開なども含まれます。ただし、NCDで呼吸器外科手術として登録されているものに限定されます。従って、心臓血管外科手術で登録されている胸骨正中切開などはカウントできません。



Q27



術者で登録されている症例を助手の症例として申請は可能ですか？

はい、術者として登録されている症例も、助手症例としてカウントできます。

